



2015年3月期 第1四半期 連結決算概況

マルハニチロ株式会社



1. 連結損益計算書

(単位: 億円)

	第1Q実績	前年同期	増減	年間計画	進捗率
売上高	2,053	2,029	24	8,500	24%
売上原価	1,774	1,745	28		
売上総利益	279	284	△ 4		
販売費・一般管理費	239	247	△ 9		
営業利益	41	36	4	110	37%
営業外収益	14	27	△ 13		
営業外費用	15	9	6		
経常利益	40	54	△ 14	100	40%
特別利益	0	2	△ 2		
特別損失	0	1	△ 0		
税金等調整前四半期純利益	40	55	△ 16		
法人税等	△ 6	25	△ 31		
少数株主利益	7	3	4		
四半期純利益	39	28	11	50	78%

2014年からスタートした新中期四ヵ年経営計画では、農薬混入事件により棄損した社会的信頼及び事業基盤の回復と、グループの総合力を発揮した戦略的な事業施策の推進に注力しております。

当該期間の実績は、前年対比で売上高は1.2%の増加。コスト削減に努めた結果、営業利益は12.1%増加した一方、為替差益の減少により、経常利益は26.1%減少しました。純利益は39億円となり、年間計画50億円に対し78%の進捗となりました。

2. 連結貸借対照表



(単位: 億円)

	第1Q実績	14年3月末	増減		第1Q実績	14年3月末	増減
流動資産	2,765	2,599	166	流動負債	2,592	2,441	152
現預金	127	140	△ 13	仕入債務	320	292	28
売上債権	1,026	982	44	短期借入金	1,872	1,788	83
有価証券	0	0	△ 0	その他	401	361	40
たな卸資産	1,476	1,343	133	固定負債	1,442	1,403	39
短期貸付金	9	9	△ 0	長期借入金	1,120	1,116	4
繰延税金資産	33	31	2	その他	321	287	34
貸倒引当金	△ 7	△ 7	0	負債合計	4,034	3,844	190
その他	101	102	△ 0	資本金	200	150	50
固定資産	2,174	2,153	21	剰余金	553	609	△ 57
有形固定資産	1,378	1,385	△ 7	自己株式	△ 0	△ 0	1
無形固定資産	218	223	△ 5	株主資本	753	759	△ 6
(内のれん)	147	151	△ 4	その他の包括利益累計額	13	12	1
投資その他資産	578	545	33	少数株主持分	140	138	2
				純資産合計	906	909	△ 3
資産合計	4,940	4,752	187	負債純資産合計	4,940	4,752	187

総資産は主として売上債権及びたな卸資産の増加により、前連結会計年度末から187億円増加しました。負債総額は借入金及び退職給付に係る負債の増加により、190億円増となりました。

3. ユニット別実績

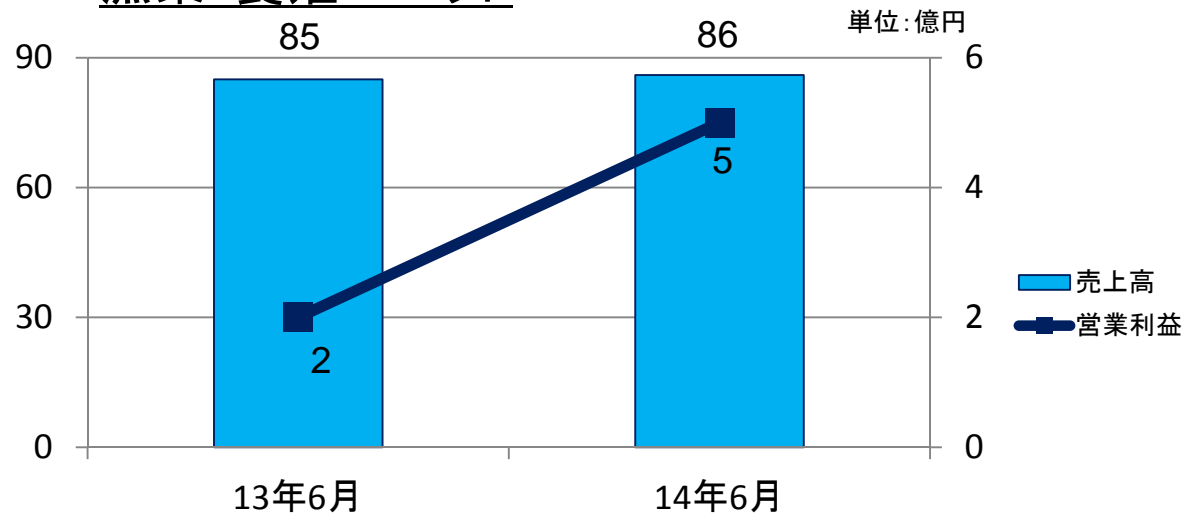
(単位: 億円)

	売 上 高					営 業 利 益				
	第1Q実績	前年同期	増 減	年間計画	進捗率	第1Q実績	前年同期	増 減	年間計画	進捗率
漁業・養殖ユニット	86	85	1	356	24%	5	2	3	18	28%
水産商事ユニット	186	180	6	640	29%	8	10	△2	21	38%
荷受ユニット	591	624	△33	2,697	22%	2	2	0	6	33%
畜産商事ユニット	120	108	13	462	26%	2	△0	2	3	67%
戦略販売ユニット	176	159	17	663	27%	1	0	1	2	50%
海外ユニット	116	90	26	438	26%	9	△2	11	9	100%
北米ユニット	215	155	60	857	25%	7	5	2	14	50%
冷凍食品ユニット	351	397	△46	1,475	24%	1	10	△9	5	20%
加工食品ユニット	152	162	△11	661	23%	1	1	△0	12	8%
化成ユニット	11	11	1	46	24%	1	2	△1	5	20%
物流ユニット	37	38	△1	155	24%	1	3	△1	10	10%
その他	11	19	△9	50	22%	2	2	△0	5	40%
全社	-	-	0	-	-	△0	1	△1	-	-
合計	2,053	2,029	24	8,500	24%	41	36	4	110	37%

※前年数値は、ユニット組み替え後の数値となっております。

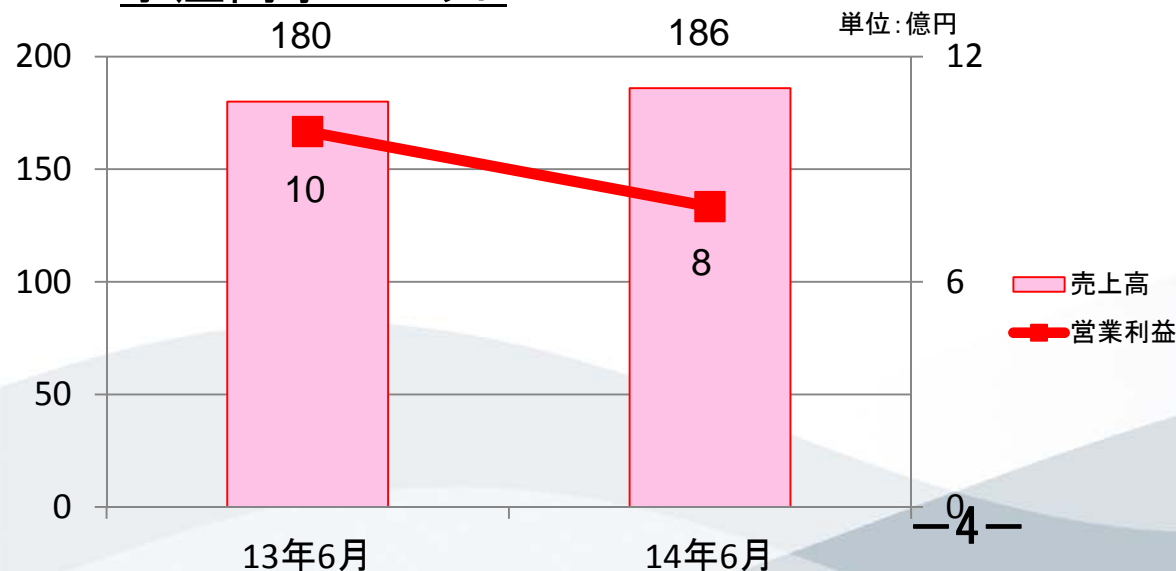
3. ユニット別実績(漁業養殖・水産商事)

漁業・養殖ユニット



漁業は主力のまき網が単価下落により不振。
養殖はカンパチ・ブリ単価上昇、マグロ価格が堅調に推移し、増収増益。

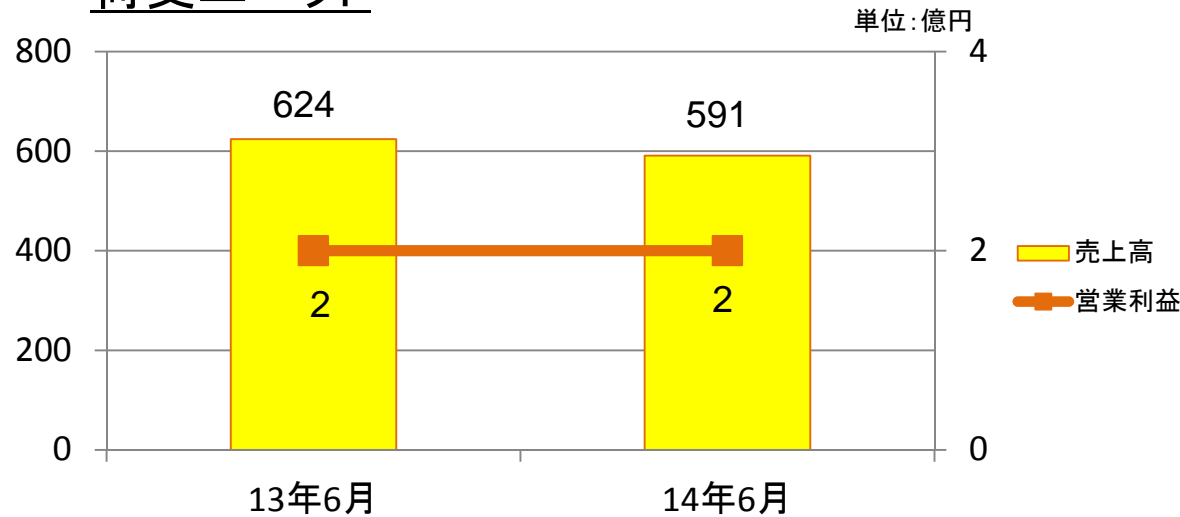
水産商事ユニット



主要冷凍魚全般の相場が堅調に推移し増収、円安、海外相場の上昇により仕入価格が高騰、高価格商材の販売不振により減益。

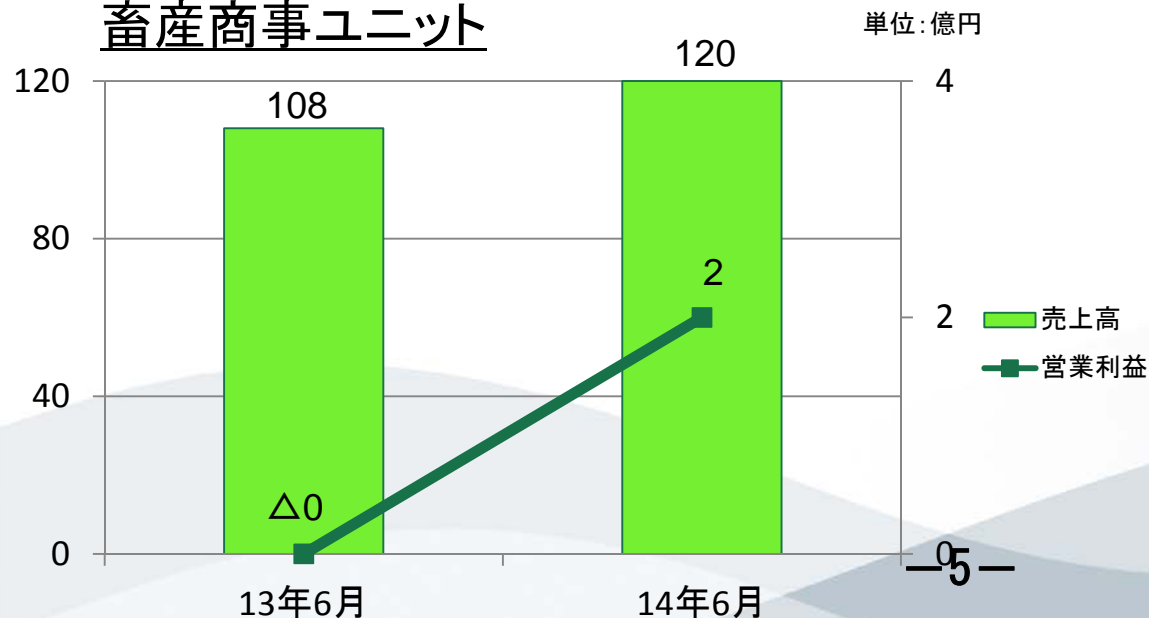
3. ユニット別実績(荷受・畜産商事)

荷受ユニット



市場内流通の縮小および前期末子会社の持分譲渡による連結除外のため減収、経費削減等により増益。

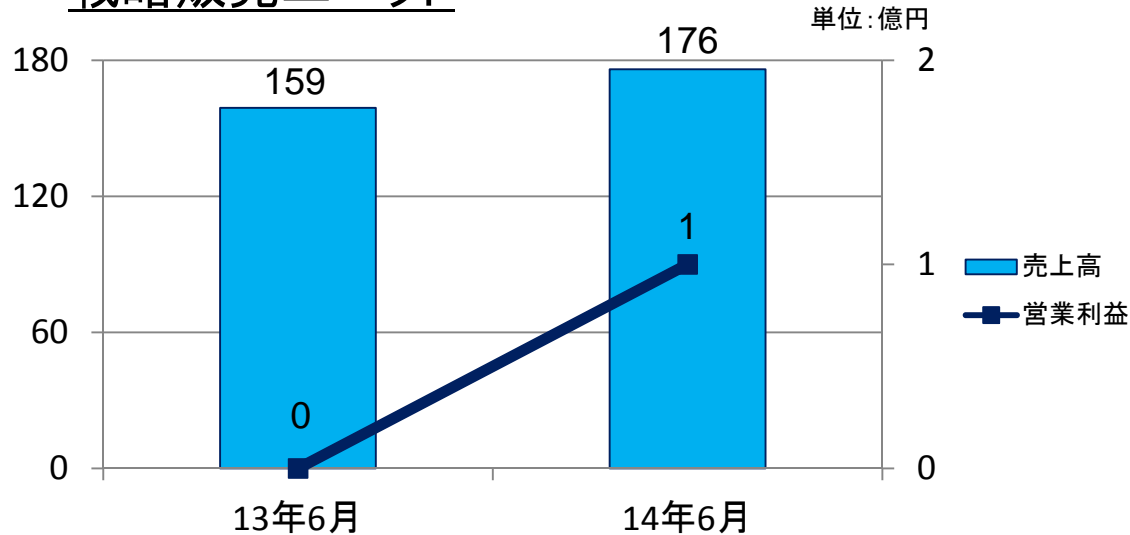
畜産商事ユニット



販売数量の増加や、食肉全般における販売価格の引き上げにより、増収増益。

3. ユニット別実績(戦略販売・海外)

戦略販売ユニット



主要魚種の原料価格高騰により販売数量は減少したものの、原料価格の上昇分の販売価格への調整が進み、増収増益。

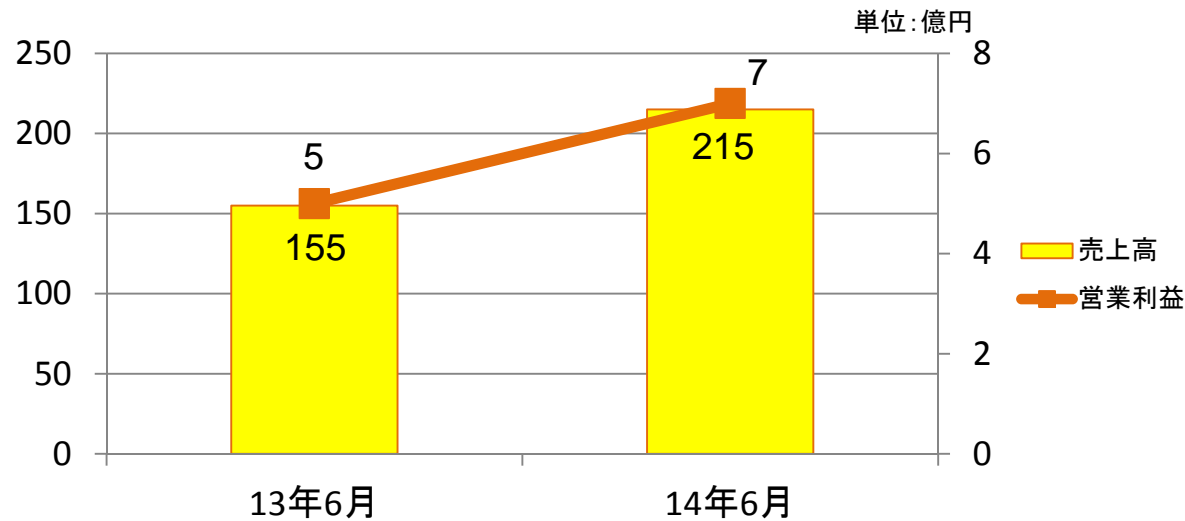
海外ユニット



水産原料の輸出増加、タイ製造の缶詰が販売好調に加え、冷凍食品の原料価格上昇分の販売価格への調整が進み、増収増益。

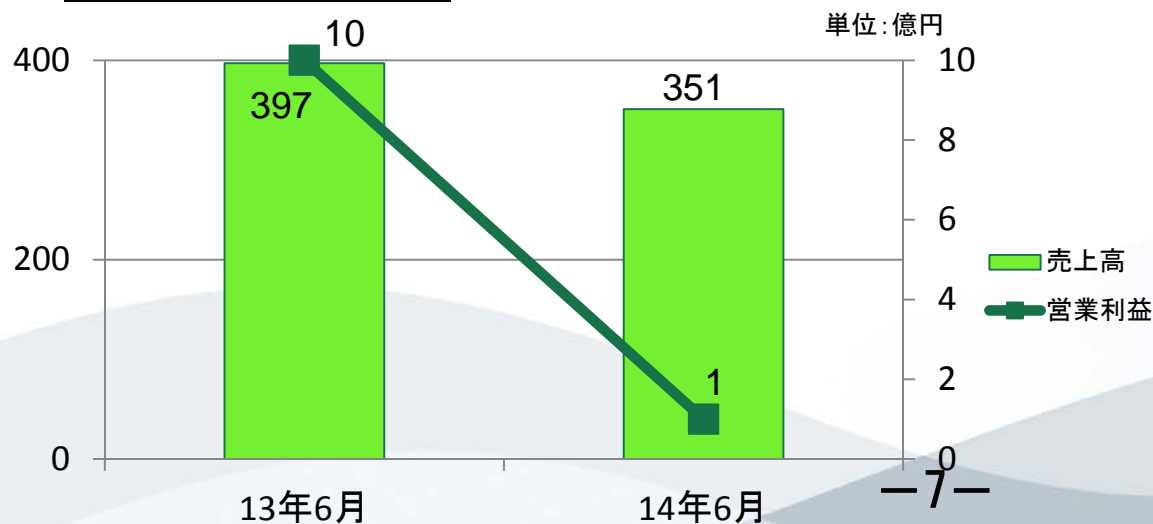
3. ユニット別実績(北米・冷凍食品)

北米ユニット



助子および助宗すりみの販売増、鮭鱒の適時買付と前倒販売に加え、欧州水産物販売会社販売好調により、増収増益。

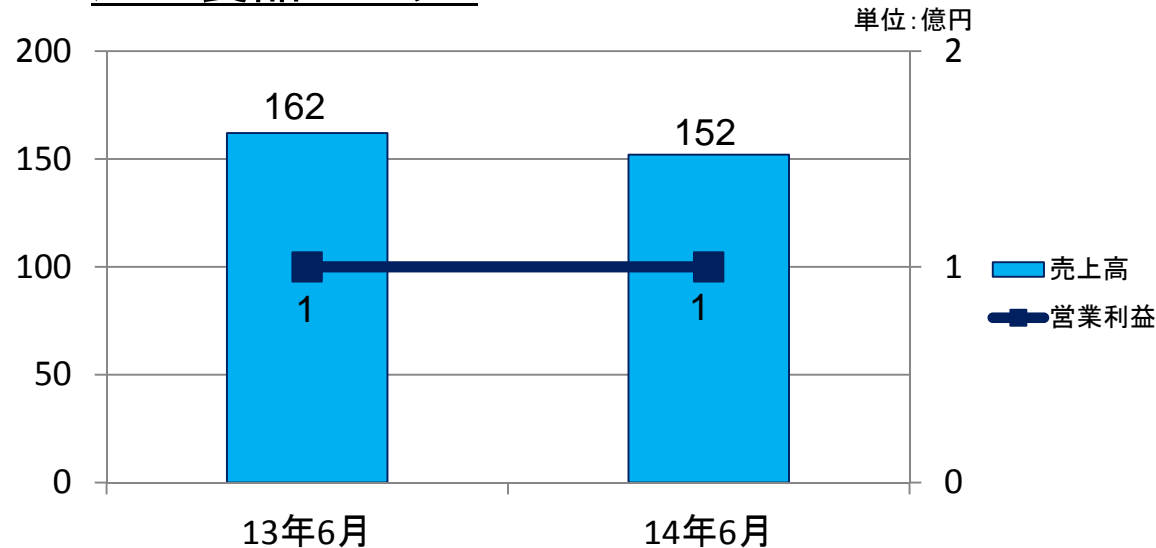
冷凍食品ユニット



市販用新商品が販売好調なるも、アクリ農薬事件の影響および畜肉原料の価格上昇により、減収減益。

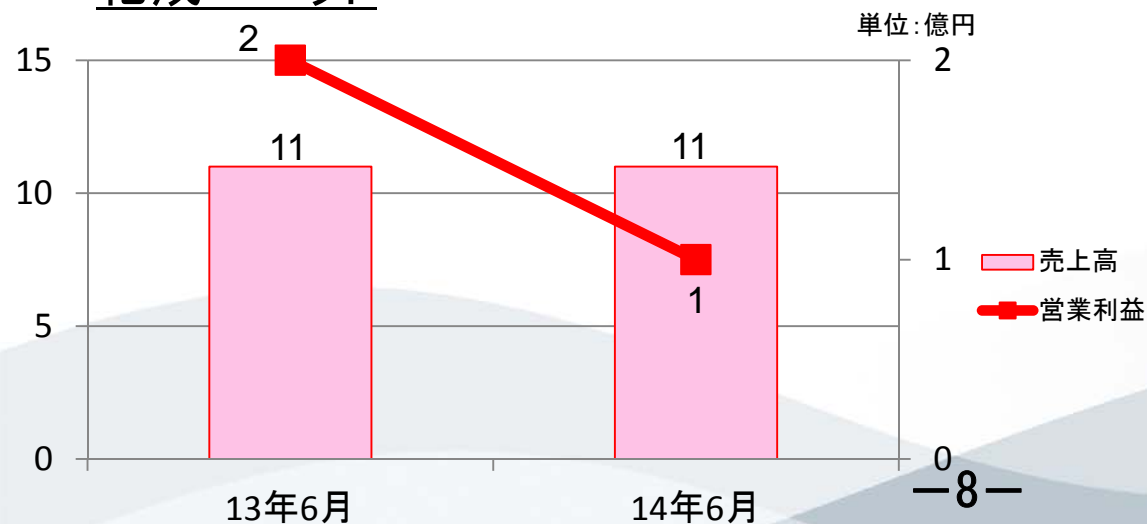
3. ユニット別実績(加工食品・化成)

加工食品ユニット



缶詰の水産原料高騰により生産、販売が減少、原料価格上昇分の販売価格への調整が遅れ、減収。

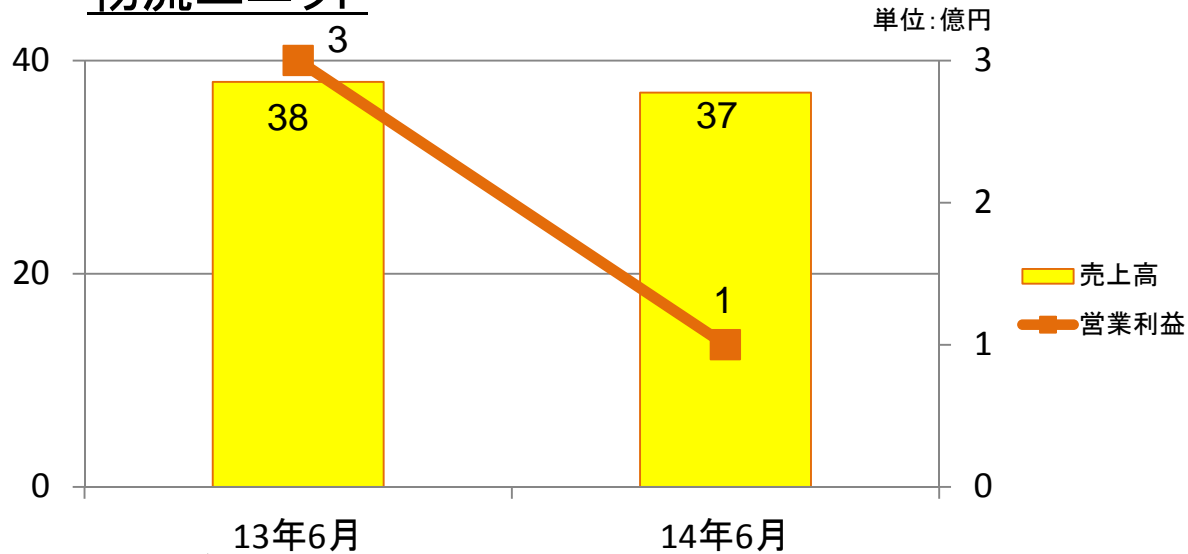
化成ユニット



医薬品用コンドロイチンおよびDHA・EPAの販売好調も消費税増税による駆け込み需要反動、原料価格の上昇により減益。

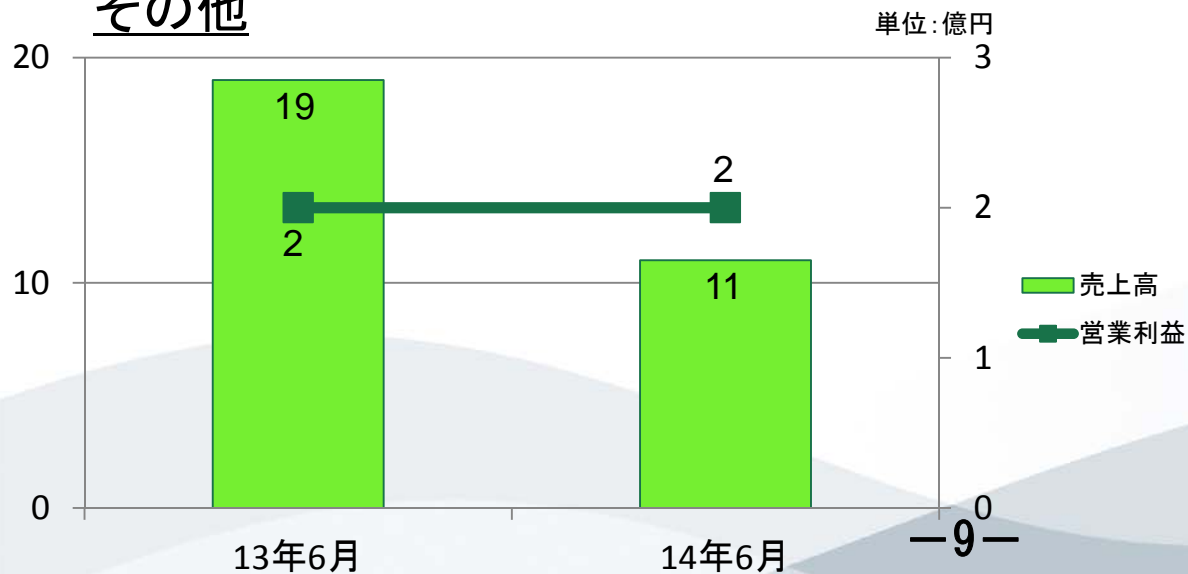
3. ユニット別実績(物流・その他)

物流ユニット



電力料金値上げによる動力費が増加した結果、減益。

その他



飲料製造子会社の売却により減収。

世界に美味しいしあわせを

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利はマルハニチロ株式会社に属します。

MARUHA NICHIRO